

---

## 検討の進め方（第 4 回までの振り返り）

---

# 検討のスケジュール（案）

検討の進め方

第1回 令和2年10月9日（金） 東京都における地域公共交通の現状・課題等 第1回行政連絡会		
第2回 令和3年1月20日（水） 地域特性に即した地域公共交通の目指すべき将来像の検討① ・ 都内4つの地域区分共通の将来像 等		
第3回 令和3年3月10日（水） 地域特性に即した地域公共交通の目指すべき将来像の検討② ・ 各地域区分特有の課題と対応する将来像の検討 等 第2回行政連絡会		
第4回 令和3年6月4日（金） 目指すべき将来像と実現に向けた取組のステップ、将来像を実現するための取組の検討		
第5回 令和3年10月12日（火） 本日 都による「地域公共交通に関する基本方針」の策定に向けた方向性の確認 第3回行政連絡会		
第6回 令和3年12月下旬頃 都による「地域公共交通に関する基本方針（中間まとめ）」 パブリックコメント		
第7回 令和4年3月下旬頃 都による「地域公共交通に関する基本方針（最終まとめ）」 第4回行政連絡会 公表		

令和2年度

令和3年度

# 前回の主な意見と第5回資料への反映

検討の進め方

主な意見	第5回資料への反映
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本検討会では、<b>長期的な視点</b>だけでなく、コロナ対策で何をやっていくのか、<b>短期的な視点・目標設定も欠かせない</b>と思う。長期的な需要の減少に対応する政策のパッケージ化が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2040年代に向けた<b>長期的な視点</b>として「§4：将来像実現に向けた取組の方向性」を、今後5年間に<b>重点的</b>に行う取組として「§5：具体的な進め方」を、それぞれ整理しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境の視点から、「<b>AVOID、SHIFT、IMPROVE</b>」や「<b>グリーン成長</b>」といったキーワードも取り入れながら、検討を進めていければ良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体を通して、環境の視点は欠くことのできないものとして記載しています。</li> <li>● 特に「§3-1：目指すべき地域公共交通の理念」では、<b>地球環境との調和等</b>の視点を記載しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「東京都ならでは」という視点では、人、資金のノウハウの集積をうまく組み合わせ取り入れて、<b>他分野と公共交通とを連携</b>していけると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【資料3】に、他分野との連携など、民間活力等を導入したスキームの検討資料を整理しました。</li> <li>● それを踏まえ、§5-2に「<b>民間企業や地域と支える新たな仕組み</b>」の節を設けました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利害関係が多く発生するような施策の実施に向けては、都の担当者が、区市町村の地域公共交通担当者や交通事業者と<b>コミュニケーションの強化</b>を図ることが重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● §5-2に、「<b>関係者との連携体制の構築</b>」の節を設け、<b>都と区市町村や、行政と事業者との連携</b>について記載しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>区市町村の地域公共交通計画策定の促進策</b>を検討するとともに、<b>都も区市町村と一体的に取り組む</b>ことが重要。モデル的に好事例を生む取組について、できるところから着手するのが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「§4-1：取組の基本的な考え方」に、都のスタンスを示すとともに、「§5：具体的な進め方」に都の取組を示しました。</li> <li>● §5-3で、<b>地域ごとの取組メニュー</b>として、<b>都と区市町村で連携して進める取組</b>について記載しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>データ利活用</b>に向けては、広域的に考える必要があり収集、流通させるといった部分で、都の役割は大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データ利活用については、「<b>取組テーマ</b>」の1つに位置付けています。</li> <li>● §5-1で<b>オープンデータ整備を促進</b>すること、§5-4では、都として引き続き<b>データ戦略構築</b>に向けて検討を進めることを記載しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ラストワンマイル対策</b>や、<b>新しいモビリティ</b>導入などの取組に対する支援策の検討も必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● §5-1に<b>地域ニーズに応じた輸送手段の導入</b>について、§5-4では、将来を見据え、<b>新たな施策を引き続き検討</b>することについて記載しました。</li> </ul>